

令和7年度当麻町地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当地域は、上川地方のほぼ中央部に位置し、水田総面積に占める水稲作付けの割合が約72%で、水稲栽培を主体とした中、農業経営の安定を図るべく施設野菜・花きとの複合経営、一部畑作物（大豆、そば、飼料作物）の栽培が行われている。

当地域においては、過去より主食用米を中心に水稲作付けの推進を図り、非主食用米を転作作物の中心作として推奨し、当麻農業の経営安定を図ってきた。今年度の、主食用米の生産の目安は、前年度の作付実績より約94ha増加している。当地域では、主食用米を最大限作付けし、需給環境において国の示す適正在庫量の確保につなげ、水張転作を推進し続けることで、当地域の継続的な水田機能を維持・確保し当麻農業の経営安定に繋げていくことが重要である。

地域の課題としては、農業者の高齢化が進み、農家戸数が減少している傾向であり、更には生産コストが上昇し続けている。将来の農業の担い手を育成・確保すべく、的確に情報を発信することが重要であるとともに、経営体当たりの耕地面積が拡大傾向にあるため、スマート農業や省力化栽培等の導入により、農作業の効率化を図ることが一層求められてくると捉えている。

2 高収益作物の導入や転作作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

当地域においては、水稲と施設園芸品目の複合経営の充実を推奨しており、野菜・花きなどの高収益作物に対しては、産地交付金等を活用することで、作付面積の維持・拡大を図り、水田における同作物の作付面積は昨年約57haであった。

高収益作物については、産地と消費地がより結びつく販売展開を行い、今後想定される水田活用の直接支払交付金の見直しや畑地化も併せて対応していくことで経営の安定を図っていく。生産者に対しては、産地交付金や施設栽培に関する補助制度などに関し、適切な情報提供を行い、当麻再生協議会が推進する基幹作物の安定的な生産・供給を図り、収益力の向上による経営の高水準化を目指す。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

近年の農家戸数の減少、高齢化に対応し、作物の作付面積の維持・拡大を実現するため、各生産者の事情や令和7年3月に策定した「地域計画」の内容を踏まえながら、各関係機関と連携し今後の担い手への計画的な農地の集積・集約化を推し進める。当地域においては、今後も水稲を中心とした施設園芸品目の複合経営に取り組んでいき、将来にわたって水田が有効利用されるよう取組むとともに、水稲を組み入れない作付体系が定着している圃場を中心に、国の水田政策の見直しについて情報を集めながら畑地化の推進について検討し、農地の維持管理を行う。

また、ブロックローテーションについては、米のタンパク質含有率の増加や、排水性・作業効率の低下等の現場の課題を把握しつつ、関係機関と連携して必要な対応策を検討しながら、大豆・そば等の連作障害回避等を目的に推進を検討する。

4 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

競争力の高い主食用米は、他産地との差別化を図り、販売業者等の需要に応えるため、独自の白米販売強化と販路拡大に努める。また、農業者所得の柱となるため、栽培の低コスト化・省力化の推進を強化し、生産基盤の維持・拡大することが重要である。

(2) 非主食用米

ア 飼料用米

需要動向や販売先等の意向調査をし、水張面積を維持していくため、多収品種に限らず、飼料用米を作付け転換の一つのツールとして位置づけ、生産に取り組む。

イ 米粉用米

需要動向や販売先等の意向調査をし、水田機能維持・確保のための水張転作の一つのツールとして需要に応じて生産に取り組む。

ウ 新市場開拓用米

国の示す、輸出米の生産を増やし、国内の需給がひっ迫した際には、国内に振り向け、需給の安定を図るため、飼料用米、米粉用米を除く新規需要米の生産振興を図る。

エ 加工用米

加工米飯など「米」としての品質が求められる用途の引き合いがあるため、加工用米の需要動向を注視しながら、水張転作の重要品目として取り組み、主食用米の調整手段ではなく、売れる米として生産に取り組む。

(3) 麦、大豆、飼料作物

需要動向や販売先等の意向調査をし、需要に対応でき、且つ収量性の高い優良品種への模索・転換を図った上で生産を図る。また、安定した品質・収量を目指し、且つコスト削減に努めるために、湿害を回避するための排水対策の取り組みと除草対策等の推進を強化し、また増収・品質向上を目的に牧草の種子の追加播種を促し、更には団地化による作業効率の向上により生産コスト削減を図り、作付面積の維持・拡大と、品質及び収量の安定化を図る。

(4) そば、なたね

転作作物として重要な農作物であるため、収量性向上に向けて、湿害を回避するための排水対策の取り組みと除草対策等の推進を強化し、更には団地化による作業効率の向上により生産コスト削減を図り、作付面積の維持・拡大と、品質及び収量の安定化を図る。

(5) 高収益作物（野菜・花き等）

当地域における水田農業にとって重要な産地ブランドの多い作物であり、販売先からの需要も高いため、水稻との複合経営によって、農業所得の確保と産地ブランドとして更なる強化を図るべく地域振興作物として位置づけ奨励を図る。

安全・安心・安定した農産物が求められる中、今後産地として生き延びていくための大きなツールとなることから、消費者・実需者からニーズの高い野菜、花きに対して、作付面積の維持・拡大を図る。

(6) 耕畜連携

利用協定に基づき生産された飼料作物の供給を受けた家畜の排せつ物からなるたい肥を散布することで資源循環を図る。

5 作物ごとの作付予定面積等

～

8 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

※ 農業再生協議会の構成員一覧（会員名簿）を添付してください。

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和8年度の作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	2,192		2,285		2,285	
備蓄米	0		0		0	
飼料用米	10		9		9	
米粉用米	0		0		0	
新市場開拓用米	18		19		19	
WCS用稲	0		0		0	
加工用米	298		257		257	
麦	4		0		0	
大豆	126		105		105	
飼料作物	255		245		245	
・子実用とうもろこし	18		11		11	
そば	149		143		143	
なたね	0		0		0	
地力増進作物	2		4		4	
高収益作物	34		35		35	
・野菜	31		32		32	
・花き・花木	3		2		2	
・果樹	0		0		0	
・その他の高収益作物	0		0		0	
その他	0		0		0	
畑地化	77		3		3	

※ 畑地化の面積については、前年度作付面積等は内数、当年度及び令和8年度作付予定面積等は

外数で計上しており、記載方法が異なります。

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目 標	前年度（実績）		目 標 値	
				(6年度)		(8年度)	
1	そば・デントコーン・子実 とうもろこし	品質・収量向上除草対 策加算	作付面積（そば） 平均収量（そば） 作付面積（デントコーン） 平均収量（デントコーン） 作付面積（子実とうもろこし） 平均収量（子実とうもろこし）	149 ha 27 kg/10 a 9 ha 2,244 kg/10 a 18 ha 355 kg/10 a	160 ha 70 kg/10 a 14 ha 4,200 kg/10 a 18 ha 500 kg/10 a		
2	大豆	品質・収量向上除草対 策加算	作付面積 1等大豆生産率	126 ha 0.8 %	160 ha 7.0 %		
3	大豆	品質・収量向上除草対 策加算	作付面積 1等大豆生産率	126 ha 0.8 %	160 ha 7.0 %		
4	そば・大豆・デントコーン （子実とうもろこし含 む）・牧草	排水対策助成	作付面積（そば） 平均収量（そば） 作付面積（大豆） 平均収量（大豆） 作付面積（デントコーン） 平均収量（デントコーン） 作付面積（子実とうもろこし） 平均収量（子実とうもろこし） 作付面積（牧草） 平均収量（牧草）	149 ha 27 kg/10 a 126 ha 196 kg/10 a 9 ha 2,244 kg/10 a 18 ha 355 kg/10 a 228 ha 294 kg/10 a	160 ha 70 kg/10 a 160 ha 230 kg/10 a 14 ha 4,200 kg/10 a 18 ha 500 kg/10 a 280 ha 310 kg/10 a		
5	大豆	品質安定加算	作付面積 1等大豆生産率	126 ha 0.8 %	160 ha 7.0 %		
6	そば	品質安定加算	作付面積（そば） 平均収量（そば） 等級そば生産率	149 ha 27 kg/10 a 98.2 %	160 ha 70 kg/10 a 99.0 %		
7	子実とうもろこし	品質安定加算	作付面積 販売金額	18 ha 15,217 円/10 a	18 ha 19,500 円/10 a		

8	そば・野菜・花き・豆類・馬鈴しょ・デントコーン・子実とうもろこし	担い手振興作物加算	作付面積（そば） 担い手割合（そば） 地域販売金額（そば） 作付面積（野菜・花き） 担い手割合（野菜・花き） 地域販売金額（野菜・花き） 作付面積（豆類・馬鈴薯） 担い手割合（豆類・馬鈴薯） 地域販売金額（豆類・馬鈴薯） 作付面積（デントコーン・子実とうもろこし） 担い手割合（デントコーン・子実とうもろこし） 地域販売金額（デントコーン・子実とうもろこし）	(6年度) 149 ha 76.7 % 9,671 千円 34 ha 46.1 % 702 百万円 36 a 18.8 % 35 千円 28 ha 56.3 % 5,707 千円	(8年度) 160 ha 70.0 % 20,000 千円 50 ha 70.0 % 900 百万円 60 a 40.0 % 160 千円 32 ha 77.0 % 7,900 千円
9	野菜・花卉	振興作物助成	作付面積	(6年度) 34 ha	(8年度) 50 ha
10	豆類・馬鈴薯	振興作物助成	作付面積 販売金額	(6年度) 36 a 35 千円	(8年度) 60 a 160 千円
11	地力増進作物	振興作物助成	連作回避を目的とした作付面積 基盤整備に伴う作付面積	(6年度) 2 ha 0 ha	(8年度) 5 ha 10 ha
12	大豆・そば・牧草・デントコーン（子実とうもろこし含む）	団地化加算	作付面積（大豆） 団地化率（大豆） 作業時間削減率（大豆播種） 作付面積（そば） 団地化率（そば） 作業時間削減率（そば播種） 作付面積（牧草） 団地化率（牧草） 作業時間削減率（牧草掃除刈） 作付面積（デントコーン） 団地化率（デントコーン） 作業時間削減率（デントコーン播種） 作付面積（子実とうもろこし） 団地化率（子実とうもろこし） 作業時間削減率（子実とうもろこし播種）	(6年度) 126 ha 40.1 % 16.0 % 149 ha 12.2 % 4.9 % 228 ha 63.6 % 28.3 % 9 ha 55.1 % 22.1 % 18 ha 0.0 % 0.0 %	(8年度) 150 ha 60.0 % 30.0 % 160 ha 30.0 % 12.0 % 280 ha 70.0 % 34.0 % 14 ha 80.0 % 34.0 % 18 ha 35.0 % 14.0 %
13	大豆（黒大豆含む）	条件不利地生産性向上加算	取組面積 条件不利地での取組率 平均収量	(6年度) 11 ha 27.3 % 196 kg/10 a	(8年度) 14 ha 64.0 % 230 kg/10 a

14	そば・牧草	条件不利地生産性向上 加算	取組面積（そば） 条件不利地での取組率（そば） 平均収量（そば） 取組面積（牧草） 条件不利地での取組率（牧草） 平均収量（牧草）	(6年度) 49.3 ha 56.4 % 27 kg/10 a 55 ha 18.9 % 294 kg/10 a	(8年度) 50 ha 74 % 70 kg/10 a 100 ha 60 % 310 kg/10 a
15	牧草	飼料作物団地化特別加算	作付面積 3ha団地化率 作業時間削減率	(6年度) 228 ha 80.7 % 29.2 %	(8年度) 280 ha 85 % 35 %
16	大豆・そば・デントコーン （子実とうもろこし含む）	品質・収量向上技術取組加算【土壌改良】	作付面積（そば） 平均収量（そば） 作付面積（大豆） 平均収量（大豆） 作付面積（デントコーン） 平均収量（デントコーン） 作付面積（子実とうもろこし） 平均収量（子実とうもろこし）	(6年度) 149 ha 27 kg/10 a 126 ha 196 kg/10 a 9 ha 2,245 kg/10 a 18 ha 355 kg/10 a	(8年度) 160 ha 70 kg/10 a 160 ha 230 kg/10 a 14 ha 4,200 kg/10 a 18 ha 500 kg/10 a
17	そば	品質・収量向上技術取組加算【増収施肥】	作付面積 平均収量	(6年度) 149 ha 27 kg/10 a	(8年度) 160 ha 70 kg/10 a
18	大豆	品質・収量向上技術取組加算【増収施肥】	作付面積 平均収量	(6年度) 126 ha 196 kg/10 a	(8年度) 160 ha 230 kg/10 a
19	デントコーン（子実とうもろこし含む）	品質・収量向上技術取組加算【増収施肥】	作付面積（デントコーン） 平均収量（デントコーン） 作付面積（子実とうもろこし） 平均収量（子実とうもろこし）	(6年度) 9 ha 2,245 kg/10 a 18 ha 355 kg/10 a	(8年度) 14 ha 4,200 kg/10 a 18 ha 500 kg/10 a
20	牧草	品質・収量・供給力向上取組加算	作付面積 平均収量	(6年度) 228 ha 294 kg/10 a	(8年度) 280 ha 310 kg/10 a
21	飼料作物	資源循環助成（耕畜連携）	作付面積 取組率	(6年度) 228 ha 14.6 %	(8年度) 300 ha 30 %
22	新市場開拓用米	新市場開拓用米取組拡大助成（追加配分）	取組面積	(6年度) 18 ha	(8年度) 28 ha
23	新市場開拓用米	複数年契約助成（追加配分）	取組面積	(6年度) 18 ha	(8年度) 28 ha
24	そば	そば作付助成（追加配分）	作付面積 平均収量 等級そば生産率 作業時間削減率	(6年度) 149 ha 27 kg/10 a 98.2 % 4.9 %	(8年度) 160 ha 70 kg/10 a 99 % 12 %

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名:北海道

協議会名:当麻町地域農業再生協議会

整理番号	使途 ※1	作期等 ※2	単価 (円/10a)	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	品質・収量向上除草対策加算	1	600	そば・デントコーン(子実とうもろこし含む) (いずれも基幹作物のみ)	除草剤散布1回以上
2	品質・収量向上除草対策加算	1	1,200	大豆(基幹作物のみ)	除草剤散布(土壌処理・茎葉散布 各1回以上)
3	品質・収量向上除草対策加算	1	1,400	大豆(基幹作物のみ)	除草作業(カルチ作業)2回以上
4	排水対策助成	1	2,000	そば・大豆・デントコーン(子実とうもろこし含む)・牧草(いずれも基幹作物のみ)	心土破碎の施工等
5	品質安定加算	1	5,800	大豆(基幹作物のみ)	刈取・乾燥調製委託、かつ地区別統一播種基準に基づき播種作業
6	品質安定加算	1	8,100	そば(基幹作物のみ)	刈取・乾燥調製委託、かつ地区別統一播種基準に基づき播種作業
7	品質安定加算	1	9,200	子実とうもろこし(基幹作物のみ)	刈取・乾燥調製委託、かつ地区別統一播種基準に基づき播種作業
8	担い手振興作物加算	1	9,300	そば・野菜・花き・豆類・馬鈴しょ・デントコーン・子実とうもろこし(品目名については別紙参照)(いずれも基幹作物のみ)	認定農業者・認定新規就農者であること
9	振興作物助成	1	38,000	野菜・花き(品目名は別紙参照)(いずれも基幹作物のみ)	助成対象作物(野菜・花き)の作付け
10	振興作物助成	1	20,000	豆類・馬鈴しょ(品目名は別紙参照)(いずれも基幹作物のみ)	助成対象作物(豆類・馬鈴しょ)の作付け
11	振興作物助成	1	4,700	地力増進作物(品目名は別紙参照(基幹作物のみ))	畑作物の連作障害の回避を目的とした地力増進作物の作付け
12	団地化加算	1	8,500	大豆・そば・牧草(品名については別紙参照)・デントコーン(子実とうもろこし含む)(いずれも基幹作物のみ)	単一作物での連担による5ha以上の団地形成
13	条件不利地生産性向上加算	1	8,500	大豆(黒大豆含む)(いずれも基幹作物のみ)	条件不利地における融雪期の簡易溝切作業
14	条件不利地生産性向上加算	1	8,500	そば・牧草(品目名については別紙参照)(いずれも基幹作物のみ)	そば:無人ヘリによる追肥等、牧草:1番草の掃除刈り等
15	飼料作物団地化特別加算	1	10,900	牧草(品目名については別紙参照)(いずれも基幹作物のみ)	単一作物での連担による概ね3ha以上の団地形成
16	品質・収量向上技術取組加算【土壌改良】	1	1,500	大豆・そば・デントコーン(子実とうもろこし含む)(いずれも基幹作物のみ)	土壌改良成分の含まれた融雪剤の散布等
17	品質・収量向上技術取組加算【増収施肥】	1	800	そば(基幹作物のみ)	窒素成分量3kg(10a当たり)以上の施肥
18	品質・収量向上技術取組加算【増収施肥】	1	500	大豆(基幹作物のみ)	緩効性肥料による施肥
19	品質・収量向上技術取組加算【増収施肥】	1	500	デントコーン(子実とうもろこし含む)(いずれも基幹作物のみ)	窒素成分量4kg(10a当たり)以上の施肥
20	品質・収量・供給力向上取組加算(草地簡易更新)	1	1,000	牧草(品目名については別紙参照)(いずれも基幹作物のみ)	適正播種量(2.0kg～2.5kg)で播種の実施等
21	資源循環助成(耕畜連携)	3	13,000	飼料作物(品目名については別紙参照)	利用供給協定を結び堆肥を散布
22	新市場開拓米取組拡大助成(追加)	1	20,000	新市場開拓用米	新市場開拓用米の作付け
23	複数年契約助成(追加)	1	10,000	新市場開拓用米	新市場開拓用米の複数年契約締結 ※コメ新市場開拓等促進事業で採択された者が対象
24	そば作付け助成(追加)	1	20,000	そば	除草剤散布1回以上

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

産地交付金の活用方法の明細に定める作物一覧

作物	品種
1 豆類	小豆
2 (大豆・黒大豆を除く)	菜豆(いんげん)
3	えんどう
4 ばれいしょ	(生食用)
5 その他作物	あさつき
6	明日葉
7	味美菜
8	アスパラガス(グリーン)
9	アスパラガス(ホワイト)
10	アスパラガス(紫)
11	アーティチョーク
12	いちご
13	いんげん
14	うど
15	えだまめ
16	オクラ
17	かぶ
18	かぼちゃ
19	カリフラワー
20	きのこ
21	キャベツ(キャベツ類全般)
22	キクイモ
23	きゅうり
24	ぎょうじゃにんにく
25	グリーンリーフ
26	クレソン
27	ケール
28	ゴーヤ
29	ごぼう
30	こまつな
31	ささげ
32	さつまいも
33	さといも
34	サニーレタス
35	さやいんげん
36	さやえんどう
37	サラダ菜
38	サンチュ
39	ししとう
40	しそ
41	しゅんぎく
42	食用キク
43	食用ゆり(ゆりね)
44	シロウリ
45	しろ菜
46	スイートコーン
47	すいか
48	ズッキーニ
49	スナップエンドウ
50	スティックセニョール(茎ブロッコリー)
51	セルリー
52	セルパチコ
53	そらまめ
54	タアサイ
55	だいこん
56	だいこんな
57	たいな
58	たまねぎ
59	チコリ
60	ちんげんさい
61	テンダーボール(花ニラ)
62	とうがらし
63	冬瓜
64	トマト
65	ながいも
66	なす
67	ナスdachウム(キンレンカ)
68	なんばん
69	にがうり
70	にら
71	にんじん
72	にんにく
73	にんにくの芽
74	ねぎ(ねぎ類全般)
75	野沢菜
76	はくさい
77	パセリ
78	パプリカ
79	ハーブ類
80	ピーマン

作物	野菜	品種
81 その他作物	(海外品種も含む)	ピーツ
82		ブロッコリー
83		ベビーリーフ
84		ほおずき
85		ほうれんそう
86		マカ
87		まくわうり(カンロ)
88		マーシュ
89		実えんどう(グリーンピース)
90		みずな
91		みつば
92		ミニかぼちゃ
93		ミニトマト
94		みぶ菜
95		メロン
96		モロヘイヤ
97		ヤーコン
98		山わさび
99		ゆりね
100		らっきょう
101		ラディッシュ
102		リーフレタス
103		ルッコラ
104		ルバーブ
105		レタス
106		わさび
107	花き	アイリス
108		アゲラタム
109		アザミ
110		アスクレピアス
111		アスター
112		アスチルベ
113		アストランチャ
114		アスパラガス(観賞用)
115		アトランティアマヨール
116		アネモネ
117		アマランサス
118		アリウム
119		アリストロメリア
120		アルケミラ
121		アルプカ
122		イキシア
123		イタリアンスカス
124		イワチドリ
125		インパチェンス
126		ウイキョウ
127		ウィンターグラジオラス
128		うばゆり(ユリ科)
129		エキノプシス
130		エボタ
131		エリンジウム
132		エレムルス
133		エンレイソウ
134		オーニソガラム
135		オダマキ
136		オレガノ
137		カーネーション
138		ガーベラ
139		カキツバタ
140		カスミソウ
141		かぼちゃ(観賞用)
142		ガマ(ガマ科)
143		カラー
144		カンゾウ
145		カンパニュラ
146		ギガンジウム
147		キキョウ
148		キク
149		菊アスター(キク科)
150		キバナシャクナゲ
151		切葉類
152		キャラウェイ
153		キャンディタフト
154		金風車(キク科)
155		きんぎょそう
156		クジャクソウ
157		グラジオラス
158		グラスペディア
159		クリスマスローズ
160		クレマチス

作物	花き	品種
161	その他作物	グロリオサ
162		けいとう
163		小菊
164		コスモス
165		コティナス
166		コデチャ
167		コデマリ
168		コマクサ
169		コワニー(ユリ科)
170		サイネリア
171		桜小町
172		サクラソウ
173		サリクトラム
174		サンダーソニア
175		シオン(キク科)
176		シクラメン
177		ジニア
178		シモツケ
179		シャクヤク
180		宿根デージー
181		ショウブ
182		シレネ
183		白妙菊
184		スイートピー
185		スイセン
186		スカビオサ
187		スキミア
188		スズメウリ
189		スズラン
190		スターチス
191		スタキス
192		スティバ
193		ストック
194		ストロベリーコーン
195		ストロベリースティック
196		スナッブ
197		スピードリオン
198		スモークグラス
199		スモグソウ
200		セダム
201		セファロフォラ
202		ゼラニウム
203		セロシオ
204		セントーレアオリエンタリス
205		千日紅
206		センニチソウ
207		ソリダコタラ
208		ソリダスター
209		ダイアンサス
210		大根草
211		大文字草
212		ダスティーミラー
213		ダリア
214		チドリソウ
215		チューリップ
216		チョコレートコスモス
217		ツルコケモモ
218		てまり草
219		テマリシモツケ
220		デルフィニウム
221		とうがらし(観賞用)
222		トキソウ
223		トリカブト
224		トリトマ
225		トルコギキョウ
226		トロリウス
227		ナス(観賞用)
228		ナデシコ
229		ナルコユリ
230		ニゲラ
231		ネマヘラソウ
232		ネムリヒメ(アヤメ科)
233		ネリネ
234		ハス
235		とうきび(観賞用)
236		ハナナス
237		パニカム
238		パプチシア
239		バラ
240		バラ実もの(切枝)

作物	花き	品種
241	その他作物	バンジー
242		ピオラ
243		ビブルナム
244		ヒマワリ
245		ヒメヒコダイ
246		ヒメヒマワリ
247		ヒヤクニチソウ
248		ピンビネラ
249		フェンネル
250		ふじなでしこ
251		フジバカマ
252		ブッチーニ(ウリ科)
253		ブブレウルム
254		フリージア
255		ブルースター
256		ブルースプレー
257		ブルネビラ
258		フロックス
259		ペコニア
260		ペチュニア
261		ベニバナ(カルタムス)
262		ヘリクリサム
263		ヘレニウム
264		ペロニカ
265		紅花山シャクヤク
266		ボインセチア
267		ホオズキ
268		ボタン
269		ホトギス
270		マーガレット
271		マトリカリア
272		マンサク
273		ミズヒキ
274		ムギ(観賞用)
275		ムスカリ
276		メコノプシス
277		メロン(観賞用)
278		モナルダ
279		モルセラ
280		ヤマゴボウ
281		山ブドウ(ブドウ科)
282		ユーカリ
283		ユーストマ
284		ユーバトリウム
285		ユーホルビア
286		ユキヤナギ(バラ科)
287		ユリ
288		洋ラン類
289		ラークスパー
290		ラナンキュラス
291		ラベンダー
292		ラムズイヤー
293		リアトリス
294		リナリア
295		リオン
296		リシマキア
297		リンドウ
298		ルドベキア
299		ルリタマアザミ
300		レースフラワー
301		レンゲソウマ
302		ローズマリー
303		ロマネスコ
304		ワレモコウ
305		利休草
306	地力増進作物	えん麦
307		とうもろこし
308		ソルガム
309		スーダングラス
310		アカクローパー
311		アルサイクローパー
312		クリムソクローパー
313		ベッチ類
314		カラシナ類
315		はぜりそう
316		マリーゴールド
317		ひまわり
318		キガラシ
319		ライ麦
320		

牧草(飼料作物)

青刈りトウモロコシ・青刈りソルガム・テオシント・スーダングラス・オーチャードグラス
チモシー・イタリアンライグラス・ペレニアルライグラス・ハイブリットライグラス・スムーズ
ブロムグラス・トールフェスク・メドーフェスク・フェストロリウム・ケンタッキーブルーグラ
ス・リードカナリーグラス・バビアグラス・ギニアグラス・カラードギニアグラス・アルファル
ファ・オオクサビキ・アカクローバー・シロクローバー・アルサイクローバー・ガレガ・ロー
ズグラス・パラグラス・パンゴラグラス・ネピアグラス・セタリア・ソルガム